

第 93 回 理 事 会 議 事 録

1. 日 時 令和 6 年 7 月 2 日 (火) 12 時 20 分～13 時 20 分
2. 場 所 アルカディア市ヶ谷
3. 出席者
- | | | | |
|-------|-------|--------|--|
| 会 長 | 楠 文代 | | |
| 副 会 長 | 中村 明弘 | 濱岡 純治 | |
| 理 事 | 吉村 祐一 | 杉林 堅次 | |
| | 渡部 一宏 | 亀井 美和子 | |
| | 越前 宏俊 | 小倉 勤 | |
| | 木村 文輝 | 神野 透人 | |
| | 赤路 健一 | 市川 秀喜 | |
| | 北川 裕之 | | |
| 監 事 | 富田 基郎 | 市川 厚 | |
| 顧 問 | 井上 圭三 | | |
| 参 与 | 本間 浩 | | |

〔 理事現在数 16 名 〕
〔 出席理事数 14 名 〕

4. 議事の経過の要領及びその結果

定款の規定に基づき楠会長が議長に就任し、理事現在数 16 名に対し、本日の出席理事は 14 名となり、定款に定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立していることが宣言された。

また、議事録署名人として出席理事から、市川秀喜理事を指名し、事務報告の後、議案の審議に入った。

(1) 前回議事録の確認について

前回議事録（第 91 回理事会及び第 92 回理事会：令和 6 年 6 月 4 日開催）について、全会一致でこれを承認した。

(2) 会長指名理事、常務理事、及び各種専門委員会委員の選任（案）
について

① 会長指名理事の選任（案）について

楠会長から、「資料3」に基づき、定款第20条に基づく会長指名理事として、下記の者の指名があり、これを承認した。

宮崎 智（東京理科大学薬学部長）

② 常務理事の選任（案）について

楠会長から、「資料3」に基づき定款第20条第5項に基づく常務理事として下記の5氏を指名し、これを承認した。

赤路 健一（京都薬科大学学長）

市川 秀喜（神戸学院大学理事・副学長）

越前 宏俊（明治薬科大学学長）

亀井 美和子（帝京平成大学薬学部長）

渡部 一宏（昭和薬科大学理事長）

③ 各種専門委員会委員の委嘱について

楠会長から、今回、委員会の構成について一部見直しを行い、新たに「6年制課程検討委員会」及び「4年制課程検討委員会」を設置した。一方、これまで設置していた定員問題、第三者評価、共用試験、大学院問題、日本薬学教育学会との連携に関する委員会については、新たに設置した委員会に吸収する形としたこと等の説明があり、承認された。

次いで、「資料3」に基づき各種専門委員会委員として下記のとおり委嘱することについて説明があり、承認された。（理事以外の委員は所属大学を表記）

なお、今後も必要に応じて新たな委員会の設置及び委員会への委員の追加を可能としていることも補足された。

また、本日の承認を受けて、各大学へ「役員等名簿」及び「各種専門委員会委員一覧」を送付することとした。

・ 広報誌編集委員会

委員長 亀井 美和子

委員 渡部 一宏

〃 有田 悦子（北里大学 教授）

〃 大津 史子（名城大学 教授）

〃 角山 香織（大阪医科薬科大学 専門教授）

- // 武 田 香陽子 (北海道科学大学 教授)
- 教育賞受賞者選考委員会
 - 委員長 楠 文 代
 - 委 員 赤 路 健 一
 - // 神 野 透 人
 - // 中 村 明 弘
 - // 濱 岡 純 治
 - 薬剤師国家試験問題検討委員会
 - 委員長 中 村 明 弘
 - 委 員 市 川 秀 喜
 - // 亀 井 美和子
 - // 北 川 裕 之
 - // 松 末 公 彦
 - // 吉 村 祐 一
 - 学校法人問題検討委員会
 - 委員長 濱 岡 純 治
 - 委 員 新 井 英 夫
 - // 市 川 秀 喜
 - // 小 倉 勤
 - // 木 村 文 輝
 - // 杉 林 堅 次
 - // 渡 部 一 宏
 - 教育研究問題検討委員会
 - 委員長 亀 井 美和子
 - 委 員 楠 文 代
 - // 荒 田 洋一郎 (帝京大学 教授)
 - // 飯 原 なおみ (徳島文理大学香川薬学部 教授)
 - // 大 津 史 子 (名城大学 教授)
 - // 桂 林 秀太郎 (福岡大学 教授)
 - // 角 山 香 織 (大阪医科薬科大学 専門教授)
 - // 川 崎 直 人 (近畿大学 教授)
 - // 岸 本 成 史 (昭和薬科大学 教授)
 - // 高 橋 秀 依 (東京理科大学 教授)
 - // 武 田 香陽子 (北海道科学大学 教授)
 - // 永 井 純 也 (大阪医科薬科大学 教授)
 - // 肥 田 典 子 (昭和大学 教授)

- 〃 屋 山 勝 俊 (神戸学院大学 教授)
- ・ 臨床実習検討委員会
 - 委員長 越 前 宏 俊
 - 委 員 赤 路 健 一
 - 〃 亀 井 美和子
 - 〃 濱 岡 純 治
 - 〃 渡 部 一 宏
 - ・ 6年制課程検討委員会
 - 委員長 楠 文 代
 - 委 員 赤 路 健 一
 - 〃 越 前 宏 俊
 - 〃 亀 井 美和子
 - 〃 北 川 裕 之
 - 〃 神 野 透 人
 - 〃 杉 林 堅 次
 - 〃 中 村 明 弘
 - 〃 松 末 公 彦
 - 〃 渡 部 一 宏
 - ・ 4年制課程検討委員会
 - 委員長 楠 文 代
 - 委 員 越 前 宏 俊
 - 〃 杉 林 堅 次
 - 〃 宮 崎 智
 - 〃 吉 村 祐 一
 - ・ 情報・科学技術検討委員会
 - 委員長 宮 崎 智
 - 委 員 亀 井 美和子
 - 〃 木 下 淳 (兵庫医科大学 准教授)
 - 〃 松 野 純 男 (近畿大学 教授)

(3) 令和6年度 教育賞受賞候補者の推薦について

楠会長(教育賞受賞者選考委員会委員長)から、「資料4」に基づき、午前中に開催した「教育賞受賞者選考委員会」について以下の説明があり、承認された。

- ① 教育賞実施規程第4条第1項に基づく、「協会の議決権を有する者による推薦」については、最近、大学からの推薦による受賞者が少ないことから、積極的に候補者の推薦が行えるよう、受賞資格、対象者等を具体的に記載した内容により依頼することとする。
- ② 同規程第4条第2項に基づく、「特定の事業等に特に功績があった者については、本協会検討委員会の委員長が推薦できる。」に関しては「教育研究問題検討委員会」「臨床実習検討委員会」「6年制課程検討委員会」及び「情報・科学技術検討委員会」の各委員長が確認を行い、候補者の推薦手続きを取ることとなった。

(4) 第109回薬剤師国家試験問題について

中村副会長（薬剤師国家試験問題検討委員会委員長）から、第109回薬剤師国家試験問題の検討結果について「資料5」に基づき、以下の報告があった。

- ① 今回も全7領域にわたって、理論、実践問題のいずれにおいても、概ね適切で良問が多かったと評価された。具体的には「グラフ・図・表・構造式・患者情報から読解力、思考力を必要とする問題」、「計算問題」、「時事問題」、「臨床現場・薬物療法の個別最適化・チーム医療を意識した問題」など、作問の工夫を評価する意見が寄せられた。
- ② 一方、必須問題については難度が高く、「細かい知識を問うている」、「選択肢にマイナーな疾患が含まれている」、「目安時間内で解答するのが難しい」、「薬剤師国家試験としての出題意図が汲みにくい」等、改善を求める声が多く聞かれた。
- ③ 各部会からの報告書では、「固有名詞や図の表記の単純ミス」、「不適切、不明瞭な表現・用語」、「希少疾患、マイナーな薬物、販売中止薬、新薬あるいは適用外使用の出題」、「専門用語の不統一」、「前提条件の欠落」、「長すぎる問題文」等が指摘された。
- ④ また「受験生を惑わさないように確認作業の徹底」、「資格試験において本当に必要であるものを吟味して出題する」、「必要に応じて実務担当教員あるいは薬剤師によるダブルチェックを行う」等が要望された。
- ⑤ 「薬剤師国家試験の“科目別出題”に限界がある。」について、今回も科目間の境界領域の出題に関する意見が複数の科目から出ている。薬剤師の実務に科目の区別はないことから“科目別出題”の在り方について是非とも検討するよう要望する。
- ⑥ 必須問題の合格基準と出題レベルについて、本試験の総得点に関する合格基準は「平均点と標準偏差を用いた相対基準」により設定さ

れ、必須問題は絶対基準となっている。今回は、必須問題の難化が指摘され、必須問題の合格基準を満たすことができずに不合格となった受験生が増加したと推定されることから、必須問題の適正化及び合格基準のあり方に関する検討を要望する。

なお、本報告書については、楠会長名で厚生労働省及び文部科学省へ報告するとともに、7月17日（水）に開催の「厚生労働省医道審議会薬剤師分科会薬剤師国家試験問題事後評価部会」において、中村明弘同検討委員会委員長及び田村和広薬理部会委員長（東京薬科大学）が出席し、本報告書をもとに意見表明を行うことが併せて了承された。

（５）薬学教育協議会について

本間参与（薬学教育協議会代表理事）から、「資料6」に基づき6月21日に開催された薬学教育協議会の社員総会において、第12期の理事が選任されたこと、また、その後開催された理事会において、本間 浩理事が代表理事に選任されたことの報告があった。

（６）その他

○ 全国薬科大学長・薬学部長会議における第1回・第2回理事会及び総会の報告について

中村副会長（全国薬科大学長・薬学部長会議会長）から、「資料7」に基づき、全国薬科大学長・薬学部長会議における理事会及び総会（6月14日及び21日開催）における主な審議・検討事項について報告があった。

- ・改選に伴う理事・監事の選出について
- ・会長、副会長の選出について
- ・順天堂大学薬学部及び国際医療福祉大学成田薬学部の全国薬科大学長・薬学部長会議への入会承認について

○ 国公立大学薬学部長（科長・学長）会議の報告について

中村副会長から、「資料8」に基づき、6月7日に開催された国公立大学薬学部長（科長・学長）会議について以下の報告があった。

- ・来年度当番校（大阪大学）、次次期当番校（岐阜薬科大学）の確認
- ・国公立大学薬学6年制教育検討委員会において、「臨床における実務実習に関するガイドライン～薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）対応～」で示された「22週の実務実習終了後に行う追加の実習（8週間程度）について議論された。

また、文部科学省へ例年提出している要望書に追加の実習（8週間程度）に関する要望も盛り込むこととし、公立大学も今年度の要望書に連名で加えることとなった。

5. その他

中村副会長（日本薬学教育学会副理事長）及び楠会長から、「参考資料」に基づき、本年8月17日（土）・18日（日）に東京薬科大学において開催される「第9回日本薬学教育学会大会：テーマ～薬学教育におけるプロフェッショナリズムとは?～」について紹介があった。

議長は、以上をもってすべての議案の審議を終了した旨発言し、13時20分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事（指名された議事録署名人）、監事がこれに署名捺印する。

令和6年7月16日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議 長 楠 文 代
(押印済)

出席理事 市 川 秀 喜
(議事録署名人) (押印済)

出席監事 富 田 基 郎
(押印済)

出席監事 市 川 厚
(押印済)